

「なりたい肌」とは、こんな肌？

皮膚バリア科学は、皮膚のバリア機能に関する研究を行う学問で、美しい素肌を保つためだけでなく、皮膚疾患の予防や治療、美容向上にも大きな貢献をしています。皮膚バリア科学を知れば、「なりたい肌」になれる。

「なりたい肌」とは、美しい素肌、トラブルのない肌、そして化粧映え・スキンケア映えする肌(メイクのノリが良い肌)を指します。これは多くの人が目指す理想的な肌状態であり、皮膚科学の観点から言えば「バリア機能のある肌」とも言えます。

理想的な肌状態の特徴には以下のようなものがあります。バリア機能のある肌状態を保つことで、メイクのノリが良くなり、仕上がりの美しい肌が得られます：

1. 透明感：肌が明るく、くすみがない美白な肌。
2. ハリと弾力：肌がふっくらとして、ハリと弾力があり、紫外線によるシワやたるみがない肌。
3. 潤い：乾燥していない、しっとりとした若々しい肌。
4. 外部刺激に強い：肌ゆらぎ(不安定状態)の起きにくい、炎症を起こしにくい、湿疹や痒みや赤みがなく、しっとりとした若々しい肌。
5. 均一なトーン：紫外線やターンオーバーの乱れによるシミや色ムラがなく、均一な肌色。
6. 滑らかさ：毛穴の開きや黒ずみが目立たず、滑らかな肌表面。
7. ベタつきのない：外部刺激が軽減され、皮脂の分泌が適切に調整されるため、過剰な油分が抑えられ、べたつかず、さらっとした快適な肌。
8. キメが細かい：肌のキメが細かいと、ファンデーションやメイクが均一に広がる。

皮膚科学の観点から推薦できるのは、皮膚バリアを修復・強化するために非常に有効な、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品(例えば、海森水)です。合成界面活性剤を使用しないことで、肌に優しく、長期的に使用しても安心です。